

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	大阪大学	整理番号	I - 2
拠点のプログラム名称	アンケート調査と実験による行動マクロ動学		
中核となる専攻等名	経済学研究科経済学専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-) 筒井 義郎 外22名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>これまでの経済学は、相対立する理論が併存するという欠点があった。最近のマクロ動学は、個人の選好に関する基本的なパラメータに依存した形でマクロ経済を記述することによって、政策評価にも利用できるモデルを提供するが、これを現実のものとするには、個人の選好パラメータを把握する必要がある。本プロジェクトは、マクロ経済学が精密科学として成立するために必要な基礎を与えることを目標とする。このため、アンケート調査と経済実験を実施して人々の属性と選好・行動・予想データを収集する。これらの方法によって、マクロ金融分析、消費・貯蓄行動、市場取引の3分野におけるパズル事象を解き明かし、競合するモデルのいずれが現実に適合するかを明らかにする。さらに、収集するデータを整理し、今後、さまざまなマクロ経済モデルを検定するために利用できるデータベースを構築し、公開する。特に、日米国際比較分析を可能とするデータベースを提供する点に特徴がある。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>実験と行動科学(心理学、社会学等)を利用した経済学は、現在経済学のもっとも先端をゆくものである。本グループはこれまでアンケート調査による株価形成の要因分析で日本のさきがけを行ってきた。実験経済学で世界的に活躍している研究者を含んでいる。このような研究の集積のもとに、この新しい分野を開拓しようとする試みで世界水準の拠点形成にふさわしいものと期待する。</p>			